



今月の ひとこと

小学校での金融教育が始まるとのことです。正直、「やっと・・・」という感じもしますが、とにかくとても良いことだと思います。私が子供向けのお金について授業を始めたのは約16年前ですが、そのころの子供たちのお金に対するイメージはとても悪いものでした。アンケートをとると、ほとんどの子供が「お金はきたないもの」、「お金持ちは悪い人」と答えていたのです。その後、経済状況が少しずつ改善するにつれて子供たちのイメージも改善していきました。

子供たちのお金に対するイメージは経済状況などに関する家庭での会話やメディアの報道などで形作られているのを感じたものです。教室でお金の勉強をするのは良いことですが本当に大切なのは生活全般の中で子供を取り巻く大人たちのお金に対する考え方です。

一番、大切なことはお金の裏側にはいつも心が伴っていることです。その心の基準（ものさし）がきちんとしていないとお金は汚いものになってしまいます。お金のことを深く学ぶと世の中はすべてつながっていることに気づきます。我々が「ご縁のネットワーク」のなかで生きていることに気づきます。学校での金融教育も是非、お金と心のしあわせな関係をしっかりと教えてもらいたいものだと思ってやみません。

+++++

毎年、夏に行っているハッピー・マネー®教室も今年で9年目、幼稚園に通っていたお友達も中学生です！今年では中高生のためのお金、仕事、投資、生き方などのお話をします。

第9回ハッピー・マネー®教室

テーマ：中高生のためのお金、仕事、投資、生き方のお話

2021/08/15 (日) 13:00 - 15:00 オンラインで開催

参加費：500円（FIWA関係者の割引はありません）

お申込み：下記のサイトからお願いします

<https://happymoney.stores.jp/items/60e2d98a59a26c6e88627622>

みなでお金、仕事、投資、生き方のことを考えてみましょう！

ハンドルネームでの参加もOKです。

+++++

FIWAみんなのお金チャンネル

毎週水曜日YouTubeで公開。現在、岡本和久と岩城みずほが資産運用に役立つ話をわかりやすく解説しています（毎回5分程度です）

<https://www.youtube.com/channel/UCgLV59f4fkrCmb4w9dh2xgA>

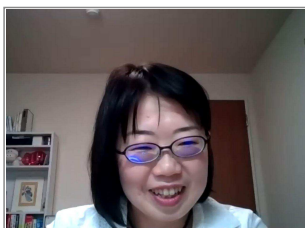
+++++

FACEBOOK上で3700人のクラブ・インベストラライフの仲間が参加し、活発な議論をしています。投資未経験者の方の質問や疑問も大歓迎です。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください。（FACEBOOKに継続的に投稿を行っている方に限定させていただいています）

+++++

FIWA®マンスリー・セミナー講演より 終のデザインを4つのマトリクスで考える

講演：桑瀬 登起子氏 レポーター：赤堀 薫里



本日のテーマである『相続の前に考えること』が、たくさんあるのではないかと、後見の仕事をして非常に感じました。問題提起として、どうすれば主体的に自分事として自分の終のデザインができるのかということが今日のお話のポイントになってきます。終の場面で、お金は二つに分けて考えた方がいいのではないのでしょうか。それらは日々の生活のお金、まとめたお金です。

FIWA®マンスリー・セミナー講演より 投資嫌いの生活者のための投資戦略

講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里

クラブ・インベストラライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストラライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

<FACEBOOK、TWITTERへの 投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告はご遠慮ください

I-Oウェルス・アドバイザーズの メール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

mag@i-owa.com

毎月15日配信 無料

Facebook

Facebook上のグループ、クラブインベストラライフ
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

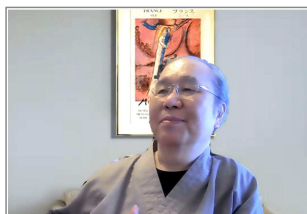
Facebookへの登録が必要で
す。リクエストボタンを押して
入会申し込みをしてください。

Facebookへはこちらをクリック

Twitter上のグループ
クラブインベストラライフ
http://twitter.com/c_investlife

Twitterへの登録が必要です





まず『なぜ投資をしたらいいのか、投資をしなくてはいけないのか』ということの前に、『どのようにしたいのか』という、その絵を考えさせてあげることが本当は大事なのではないかと思います。みんなその過程を飛ばして、まず『NISAを開きましょう。イデコをやしましょう。銘柄を選んでやるのは面白いよ』など、そこから入ってしまうと、なかなか自分の将来とうまく繋がっていきません。

知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

- ★なぜアルプススタンドというのか
- ★グンゼ（社名の由来）
- ★ヤジ將軍、三木武吉
- ★牧師と神父の違い
- ★「零」はゼロorれい？

バックナンバー

一覧

- 2021年06月15日発行 Vol.222
- 2021年05月16日発行 Vol.221
- 2021年04月15日発行 Vol.220
- 2021年03月02日発行 Vol.219
- 2021年02月02日発行 Vol.218
- 2021年01月03日発行 Vol.217
- 2020年12月05日発行 Vol.216

ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストラ이프をご購入いただけます。

購入・詳細

FIWA®代表理事リレー投稿 「アテンション・プリーズ」—生活者が金融サービスを利用して投資をする際に注意すべきこと—

寄稿：FIWA®協会 副理事長 原田 武嗣



生活者は自分の大切なお金を投資するのですから、「投資家としての権利」を強く意識することが肝要です。そして、金融機関の営業マンや金融アドバイザーなど金融サービス提供者に対して、投資を始める前に「適切な質問」をしなければなりません。常に不確実性を伴う投資の世界では、金融サービス提供者について信頼の絆が保てること、自分が納得できない、理解できない投資はしないことを徹底することが必要だからです。

瞑想はなぜ投資に役立つか

岡本 和久



私は30数年の瞑想者ですが、瞑想は投資にも、仕事にも、そして、人生にも有益であることを実感しています。私のYouTubeチャンネルに三回にわけて「なぜ瞑想は投資に役立つか」という動画を公開しました。是非、ご覧ください。

- 第一回 <https://youtu.be/AId8UOBhIxI>
- 第二回 <https://youtu.be/5Pw6Ox8IQhA>
- 第三回 <https://youtu.be/Scw8SDi2cGQ>

インベストラ이프・アーカイブより 資産運用「きほん」の「き」（2008年7～8月）

岡本 和久

体験的情報化の変遷 ～株価は黒板で見た ～株価情報を提供して注文をもらう ～君の判断が聞きたい
～情報化時代の投資戦略に出会う

参考データ・コーナー

基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

基本ポートフォリオのパフォーマンス 6月は4資産成長型が1.21%、2資産成長型が1.61%のパフォーマンスでした。世界各地のパフォーマンスは <https://www.ibotson.co.jp/market/> でご覧いただけます。

投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

今回は純資産上位ファンド（毎月および隔月決算型を除く）の運用状況の運用状況をリストアップしていただきました。前月末時点でトップはグローバル・プロスペクティブ・ファンド（日興アセット）、2位がグローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）（AM_One）、3位がnetWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）（年2回決算型）（ゴールドマン・サックス）でした。

I-OWAたより

岡本和久のI-OWA日記

こちらをご覧ください ⇒ <https://i-owa.com/>

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

セミナー案内

190 マンスリー・セミナー

開催形式 OL (Zoom使用)

開催日時 2021年7月18日(日) 12:30~16:00

講演・講師

岡本 和久 「達人たちに学ぶ投資戦略」

江黒 清史氏 税理士江黒清史事務所 「有価証券、不動産を相続するにあたり、税の面から知っておいて欲しいこと」

備考 お申込み：2021年6月22日以降受付

<https://happymoney.stores.jp/>

第9回、夏休み恒例ハッピー・マネー®教室（#191 マンスリー・セミナー）

開催形式 OL (Zoom使用)

開催日時 2021年8月15日(日) 13:00~15:00

講演・講師：岡本 和久

●ハッピー・マネー®教室 中高生のためのお金、仕事、投資、生き方

参加費：500円（FIWA関係者の割引はありません）

お申込み：

<https://happymoney.stores.jp/items/60e2d98a59a26c6e88627622>

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

Page Top

バックナンバー | お問い合わせ | ご感想 |

Copyright © Fiduciary and Independent Wealth Advisors, NPO
All rights reserved.

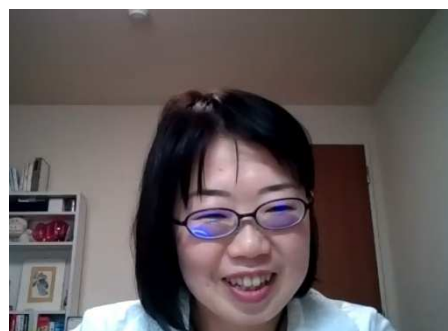


FIWA®マンスリー・セミナー講演より 終のデザインを4つのマトリクスで考える

講演：桑瀬 登起子氏
レポーター：赤堀 薫里

本日のテーマである『相続の前に考えること』が、たくさんあるのではないかと、後見の仕事をして非常に感じました。問題提起として、どうすれば主体的に自分事として自分の終のデザインができるのかということが今日のお話のポイントになってきます。

終の場面で、お金は二つに分けて考えた方がいいのではないのでしょうか。それらは日々の生活のお金、まとまったお金です。まとまったお金は住まい費、自宅も含みます。日々の生活費は、健康関連と非常に密接に関係してきます。お金はこれだけあるとわかっていても、だんだん自分で支払えなくなった時に、後見で誰かにお願いする、家族で信託をする、信託というモノを家族の中で作って、受託者に代わりにやってもらうということもできます。まとまったお金も、後見制度、家族で信託もやってもらえます。住まいの話も含めてどういうことがあるのかをなるべく早めに考えておいていただくことが必要です。



入院になっても、今は高額医療費の制度もあります。そんなに医療費にお金はかからないでしょう。むしろ施設に入るお金をどうするのか。住み替え。そういったことを考えなくては行けない。認知症に関しては、お金の管理が難しくなったとき、最後、誰が管理してくれるのかということが非常に問題になってくるパターンが多い。法定後見制度を利用できますが、割と使いづらい。医療の決定権がないのです。

結局、親族がひっぱり出されてしまう。そうすると、家族で、ある程度の金額を信託しておくほうがいいのかもしれませんが、また、事前準備として法定後見に対して、任意後見制度もあります。これは、自分がはっきりしている間に、自分がこの人に託したいと思う後見候補者と契約をします。それは公正証書にして公証役場でやるので中身ははっきりしています。しかし、結局こちらも家族で柔軟に運用するということができないということと、任意後見制度は、実際に認知症になって後見契約を家庭裁判所にお願いをしてやっと発行してもらえるのです。





FIWA®通信「インベストラ이프」

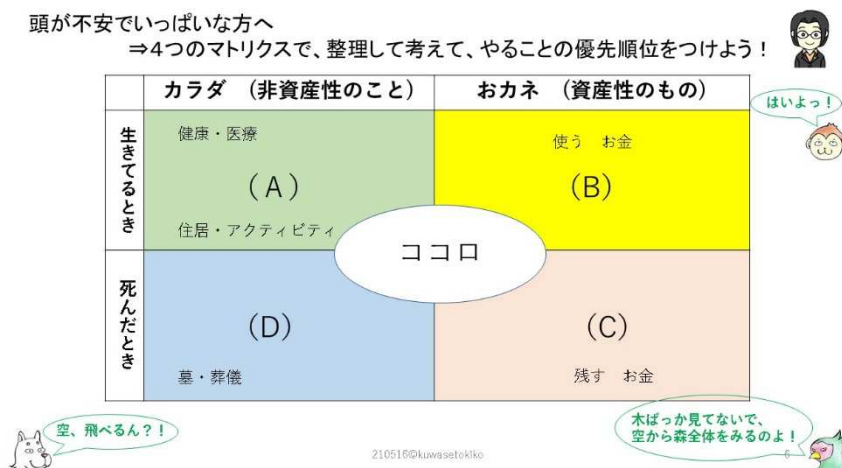
すると次は、家庭裁判所が任命した後見監督人が付きます。家庭裁判所に関わられてしまう。不正が生じにくいという良い面もあります。でもかなり面倒でもあります。それだったらと、家族で信託が少し流行りだしています。

ここで一番大事なことは、『まだ大丈夫』と言っているうちに、いろいろなことが不可能になり、手遅れ状態になる方が非常に多いことです。こういう話は繰り返ししておくことが大事だと思います。相談相手は、専門職後見人であれば弁護士、司法書士、社会福祉士の三者でいいのではないのでしょうか。また、お金の話ですからFPさんに相談して、しかるべき人につないでもらう。税理士さんも悪くはないですが、後見制度を積極的にやっているわけではありません。しかし残すお金では関係します。税理士さんをお願いするということもあるのかなと思います。

より良い終のデザインのために、まず生きているときのカラダ(非資産性のこと)とおカネ(資産性のもの)。死んだときのカラダとおカネ。この四つのマトリクス全体を俯瞰してみる。そして最後はココロに聞くという意味でこのマトリクスの真ん中にココロがおいてあります。本人に全体を見てもら

頭が不安でいっぱいの方へ

⇒4つのマトリクスで、整理して考えて、やることの優先順位をつけよう！



い確認をしてもらうと同時に、アドバイスをする方にも確認、意識が必要です。とにかく遺言、墓、葬儀ということばかり耳によく聞こえてくるので、高齢者の頭の中もそうなっています。そうではなくて、実際生きている時が大事だという話をさせていただくことが四つのマトリクスの正しい使い方であり、一つの考え方のヒントになるのではないのでしょうか。

非常に難しいのは、人によって検討すべき点が異なることです。自分で考えるには難しいので相談することになります。ただ誰に相談相手になってもらえるかで異なってきます。専門家を選択するにあたって、相性はとても大事です。誠実な人。本人や家族のことをよく理解してくれる人。どんなに知識があっても、どんなにすごい家族信託ができますといっても、本人が望んでいることを実現してくれる人でないとあまり意味がありません。誠実な人。本人や家族のことをよく理解してくれる人。どんなに知識があっても、どんなにすごい家族信託ができますといっても、本人が望んでいることを実現してくれる人でないとあまり意味がありません。



FIWA®通信「インベストラيف」

結局自分のことは、自分の心に聞いて考えましょう。その時にオールラウンドの専門家はいません。アドバイスをすることは知識のレベルを上げることはありません。パーソナルトレーニング的に、横で『頑張れ』とか『落ちそうだよ』と言ってくれる専門家がいいのではないのかと思います。知識が豊富よりも、気配りが豊富ということを心がけて専門家を探す。また頼れるキーパーソンを探すことが大事ではないか思います。

これだけいろいろなことを話して、いろいろな事をしなさいと言っても、準備に 100%はないという割り切りも必要です。「なるようになるさ」と思っていた方が本人も楽ですし、周りの相続人も楽なのではないかと感じます。

講演では、人生 100 年時代を数字で確認しながら、四つのマトリクスの詳しい説明と、それぞれの課題と対策を具体的にわかりやすく解説いただきました。



FIWA®マンスリー・セミナー講演より 投資嫌いの生活者のための投資戦略

講演：岡本 和久
レポーター：赤堀 薫里

投資は嫌いでも、将来は不安という人がたくさんいると思います。今日はそういう人たちへアドバイザーがどのようにお話をしたらいいのか、私の体験を交えて、一步踏み出してもらうための話をお伝えしたいと思います。

『あなたのお金の問題はなんですか？』と聞いたとき、多くの人が、だいたい『今お金がない』と言います。今から30年後にお金が足りなくなるということは漠然とした不安感で、具体的な問題とは少し違う。でも本当は10年、20年、30年先の望ましい姿に向けて、今、何をしたらいいのかということを考えることが大切なのです。

まず『なぜ投資をしたらいいのか、投資をしなくてはいけないのか』ということの前に、『どのようになりたいのか』という、その絵を考えさせてあげることが本当は大事なのではないかと思います。みんなその過程を飛ばして、まず『NISAを開きましょう。イデコをやりましょう。銘柄を選んでやるのは面白いよ』など、そこから入ってしまうと、なかなか自分の将来とうまく繋がっていきません。

お金の対策として考えるのであれば、まずは自分の人生を考える。その人生を実現するためのお金の問題を考える。すべての始まりはライフプランを考えることです。次は現在から将来に至る資産、負債、収入、支出を考える。そして、これらのリストラをする。

今度はその中の投資という部分について、『やっていいこと』『やってはいけないこと』をちゃんと理解する。投資信託というものとは何かを学ぶ。基本的な投資のこと、お金のことを学ぶ。「75文字の資産運用」を学ぶ。そして投資信託を選ぶ。できれば全世界株のファンドを一つ選び、非課税口座を開設して、積立投資の手続きをする。投資方針書を書き、信念が揺らいだ時に読み直す。これは自分の自分に対する決意表明です。あとは何があっても止めないで積立を続けていけばいい。

この過程を通じて、本物のプロの専門アドバイザーが伴走者としてサポートすることが、非常に効果があると思います。もちろんプロのアドバイザーには相談料を払います。しかし、相談料を払わ





FIWA®通信「インベストラ이프」

ず無料のアドバイザーをお願いをして、上手いかなかったときのコストはすごく大きい。「タダより高いものはない」のです。大きな間違いをしないためにも、安全料は払う必要がある。プロの本当の意味でのアドバイザーを採用してその人と相談をしながらずっとやっていくことは有益だと思います。

お金の問題は人生にかかわる問題です。生きている目的は「しあわせ持ち」になること。そしてしあわせ持ちの条件としては6つの富(金融資産、心身の健康、家族などの愛する存在、友達・交友関係、楽しみ・趣味、社会貢献)のバランスがとれるように自分の生き方を修正していく。

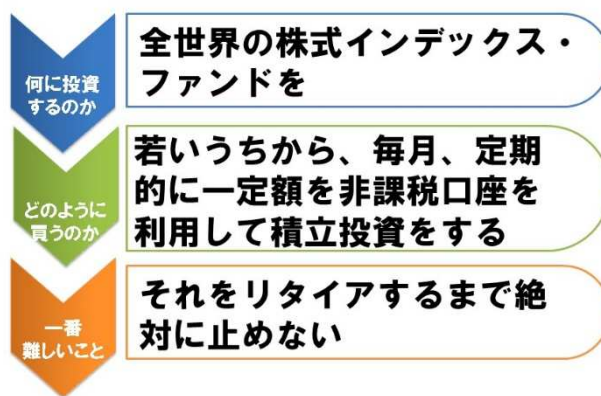
お金は感謝のしるしです。ですから、働くということは他人に感謝されることです。そしてしあわせ持ちになるためのお金の使い

方がハッピー・マネー®四分法です。最初にお金と人生というものを理解すること。今の収入は、今の生活費と将来の生活費であると知る。そして将来の自分は、今の自分が支える。公助・共助・自助。この『助』とは、あくまでも補助の助であり、任せておけばよいというものではない。どれも自己責任なのです。

また、重要なことは何十年という時間をかけて投資をしていくわけですから、購買力に注目することはとても大事なことです。物価の上昇によって持っているお金の価値は減ります。購買力が下がってしまうことは最悪です。ただ、購買力を維持するだけでは足りないので、購買力を維持しながら、もう少し増やすようにしていけないといけない。世界経済全体の成長は、物価上昇と数量成長から成り立っています。要するに「物価の上昇率+数量成長」。つまり、購買力を維持することと、それ以上少し稼ぐことができるということです。この「それ以上に少し稼ぐ」部分の役割を果たすのが株式への投資です。

私は、『全世界の株式インデックスファンドをできるだけ若いうちから毎月・定期的に一定額を積立投資する。そして、それをリタイアするまで絶対に止めない』という75文字の資産運用を提唱しています。始めることはそんなに難しくはない。しかし、続ける方がはるかに難しいし、続けないと効果は出ない。若いうちはできるだけ資金で積立をする。とにかく第1歩を踏み出す。少しずつ給料も増えてきて、余裕がちょっとでも出てきたら積立金額を増やす。

75文字の資産運用～分散・長期・積立・継続



15



FIWA®通信「インベストラ이프」

大事なことは、とにかくシンプルなことを長く続ける。個人投資家の最大の武器は時間です。複利の効果をフルにメリットとして受け取るために重要なことは、時の試練に耐えること。長旅の途中でどのようなマーケットの変動があっても、とにかくしっかりとそれ続けていくことが大切です。講演では、投資にまつわる誤解の説明や、資産運用成功の四項目をわかりやすく解説いただきました。



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

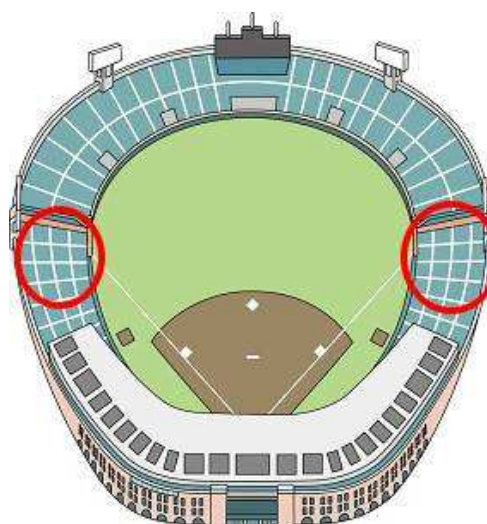
1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員（調査本部長）を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



なぜアルプススタンドというのか

甲子園球場には「アルプススタンド」と呼ばれる観客席がある。なぜ「アルプス」なのか？

甲子園は増え続ける観客に対応するため、昭和 4 年（1929）夏に観客席を増設した。その席が応援する人たちの白シャツで埋め尽くされた光景から、漫画家の岡本一平（岡本太郎の父親）が「そのスタンドはまた素敵に高く見える、アルプススタンドだ、上の方には万年雪がありそうだ」と朝日新聞に漫画を描いて以来、「アルプススタンド」と呼ばれるようになったという。



ゲンゼ(社名の由来)

当社は 1896 年（明治 29 年）、京都府何鹿郡（現在の京都府綾部市）の地場産業であった蚕糸業の振興を目的に「郡是製絲(株)」として設立された会社で、1967 年（昭和 42 年）に現在のゲンゼ(株)に社名を変更している。



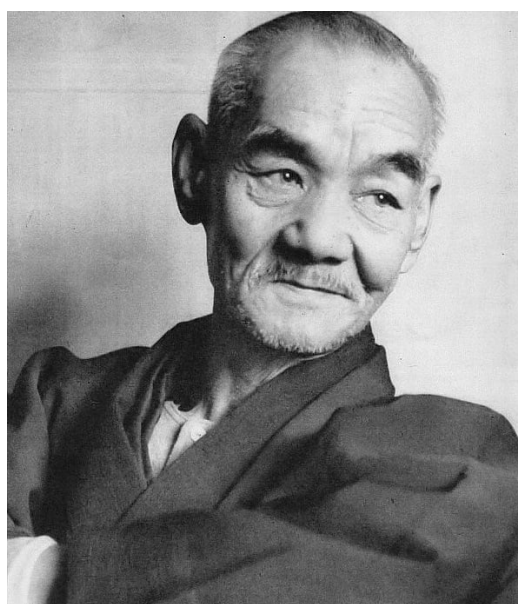


会社の設立目的が何鹿郡の地場産業の振興であったことから、『郡』の方針を意味する「郡是」とし、現在の社名はそれをカナ表記にしたものだ。「郡是」とは、国の方針である国是、会社の方針である社是と類似のものである。

ヤジ将軍、三木武吉

国会でヤジが問題視されることがあるが、議会でのヤジで思い出されるのは舌鋒鋭く政府を批判し、「ヤジ将軍」の名をほしいままにした三木武吉だ。以下は憲政史上最も有名なヤジである。

三木武吉は1920年(大正9年)の議会で、原敬内閣の高橋是清大蔵大臣が海軍予算を説明中、「陸海軍共に難きを忍んで長期の計画と致し、陸軍は10年、海軍は8年の…」と言いかけたときに『ダルマは9年!』とヤジった。これは、高橋のあだ名の「ダルマ」に、「達磨大師が中国の少林寺で壁に向かって9年間座禅し、悟りを開いた」という面壁九年の故事をかけた、機知に富んだものだった。議場は爆笑に包まれ、高橋も演説を中断して、ひな壇にいた原を振り返り苦笑いした。普段から謹厳なことで知られる加藤高明や濱口雄幸までが議席で笑い声をあげたという。



なお、三木武吉は鳩山一郎の盟友であり、1955年の自由民主党結党による保守合同を成し遂げた最大の功労者として知られている。

牧師と神父の違い

牧師はプロテスタント、神父はカトリックや正教会(ギリシャ正教、東方正教会)と教派が違っただけでなく、かなりの相違点がある。牧師は教職者で、一方、神父は聖職者であり、信徒とは一線を画した存在だ。

また、牧師は結婚できるが、カトリックの神父は聖職者として神に一生を捧げる立場なので結婚は認められていない。さらに、牧師は男女どちらともなることができるが、神父は男性のみだ。このように牧師と神父には様々な違いがあるとはいえ、両者ともにその名称に誇りをもって仕事に従事している。



「零」はゼロ or れい？

大東亜戦争初期に活躍した「零戦」を我々は慣用的に「ゼロセン」と読んでいるが、本来「ゼロ」は英語の zero であり、常用漢字表には、「零」の読みは「れい」だけで「ゼロ」はない。厳密にいうと「ゼロ」という読みは間違いなのだが、「ゼロセン」は固有の読みとして定着しているのである。

NHK など、数字の「0」「零」は原則として「レイ」と読んでいる。降水確率 0%も「ゼロパーセント」ではなく「レイパーセント」と読んでいる。「ゼロ」も「れい」もともに皆無を意味するが、「零細企業」というように「零(れい)」には「きわめて小さい」という意味もある。

なお、「零戦」は開発した皇紀 2600 年(昭和 15 年)の数字の末尾である「0」から「零式(れいしき)艦上戦闘機」と命名され、「零戦」は略称として使用されたものである。

追記:「零戦」を題材とした本には堀越二郎「零戦 その誕生と栄光の記録」(角川文庫)、柳田邦男「零戦燃ゆ」(文春文庫)、吉村昭「零式戦闘機」(新潮文庫)などがある。



FIWA®代表理事リレー投稿 「アテンション・プリーズ」

—生活者が金融サービスを利用して投資をする際に注意すべきこと—



寄稿: FIWA®協会
副理事長 原田 武嗣

人生 100 年時代と言われる今日、生活者が人生を通じてのお金との付き合い方の知識をしっかり持ち、自ら長期の資産形成を実践していくことが強く求められています。

人生を通じてのさまざまなリスクをヘッジしてくれる社会保険制度や社会保障制度などのセーフティーネットもありますが、多くの人にとってそれだけでは十分ではなく、将来の自分は今の自分が支える時代が来ています。このような時代状況の中で、多くの人が将来のことを考えて投資をしてみようと考え始めています。しかし、投資を投機と混同して、「危ないもの」と思い込んで、なかなか一歩を踏み出せない人がいる一方、一歩踏み出したけれど、自分の知識・経験・財産の状況に適合しない金融商品に投資してしまったり、短期的収益を追求しすぎて、過度のリスクをとってしまったり、間違った方向に向かってしまう人もいます。

生活者は自分の大切なお金を投資するのですから、「投資家としての権利」を強く意識することが肝要です。そして、金融機関の営業マンや金融アドバイザーなど金融サービス提供者に対して、投資を始める前に「適切な質問」をしなければなりません。常に不確実性を伴う投資の世界では、金融サービス提供者について信頼の絆が保てること、自分が納得できない、理解できない投資はしないことを徹底することが必要だからです。

そこで、今回は、「生活者が金融サービスを利用して投資をする際に注意すべきこと」を、グローバルな投資専門家の職業団体、CFA 協会が策定した「投資家権利に関する声明」(注 1)を参考に考えてみましょう。





本声明では、投資家の権利について、以下の定義をしています。

金融専門家および金融機関のサービスを受ける際に、投資家は以下の事項に対する権利を有します

1. 誠実で、有能で、かつ関連法に従った倫理的行為
2. 正しい情報に基づく分析および慎重な判断、勤勉な努力に基づく独立した客観的な助言およびサービス
3. 専門家や組織の利益より投資家利益の優先
4. 他の顧客との間での公正な取扱い
5. 商品やサービスを提供するときに存在する、あるいは潜在的な利益相反の開示
6. 顧客状況を理解した上で提供される、投資家の目的や制約に相応しい助言
7. 平易な言葉を使用し、効果的に情報を伝える形式で提示される、明確かつ正確、完全かつ迅速なコミュニケーション
8. 賦課されるすべての手数料、コストの説明と、これらの費用が公正かつ合理的であることを示す情報開示
9. 個人情報の秘匿
10. 投資家のために提供されたサービスの適切かつ完全な記録

CFA 協会は”REALIZE YOUR RIGHTS”（あなたが持っている権利について知ろう）（注 2）という出版物の中で、上記 10 の投資家権利に対応する形で、「質問」例を説明しています。そのすべてをここで説明することは、迂遠となります。そこで、その趣旨を汲み取り、アドバイザーなど金融専門家や金融機関のサービスを利用する場合の「質問」の例を作ってみました。

1. （金融サービス/アドバイス提供にあたり）遵守している「倫理規範および職業行動基準」がありますか？そのコピーを頂けますか？
2. 特定の金融・投資商品を推奨/アドバイスする場合、その根拠は何ですか？
3. あなた（または勤務先金融機関）は「フィデューシャリー・デューティ宣言」（注 3）を金融庁に提出し、公表していますか？その内容はどのようなものですか？
4. 私が他の顧客と公平な扱いを受けていることを確認できますか？特に、（金融）危機に際して、どのようにして十分なサポートと顧客サービスが受けられますか？
5. 利益相反の可能性を開示していますか？どのように利益相反を回避していますか？
6. 私の財務上のニーズと目標をどう理解して推奨/アドバイスしていますか？私の財務上のニーズと目標を実現するためのフィナンシャル・プランを書面で頂けますか？
7. コミュニケーションはどのような頻度でどのように（電話・メール・対面など）行われますか？書面による報告のサンプルを頂けますか？



FIWA®通信「インベストラيف」

8. 私が負担するすべての手数料など報酬の決め方とその内容(総額、内訳、率など)を予め説明してください。報酬徴収にあたり利益相反はありませんか？
9. 顧客情報についてのプライバシーポリシーはどのようになっていますか？情報の紛失や盗難にあったことはありますか？その場合、どのように解決しましたか？
10. アドバイス記録はどのくらいの期間、保管されるのでしょうか？また、いつでも請求することができますか？

このような質問は質問する側と受け手の双方に緊張感を生みます。生活者がアドバイザーなど金融専門家や金融機関のサービスを利用する際に、投資家としての権利を上記のような詳細な質問でチェックすることには心理的な抵抗があるでしょう。しかし、大切なお金を投資することをしっかり意識して、勇気をもって「適切な質問」を発してみましょう。

質問の受け手の金融アドバイザーは、FIWA®倫理規範および職業行為基準(注4)を遵守することで、CFA 協会の「投資家権利に関する声明」で提示された投資家権利に的確に対応することが可能です。FIWA®認定アドバイザーの仲間の輪がますます広がることを期待します。

(注)

(1) CFA 協会「投資家権利に関する声明」は、金融サービス商品の購入者に対し、金融サービス提供者に求めるべき行動規範を明らかにするものです。これらの権利は、いかなる専門家との関係においても信用・信頼の醸成に不可欠な基本的倫理原則を反映しています。これらは、投資運用、調査助言、銀行サービス、保険、不動産などの金融商品およびサービスに適用されます。投資計画の策定、証券会社との取引、銀行口座の開設、あるいは住宅の購入等の際、投資家の権利に関する声明は、投資家が必要とする情報を入手し、期待できる当然のサービスを受けるのに役立つツールです。金融プロフェッショナルがこれらの権利に従うことを要求することにより、取引の相手方となる個人や金融機関との信頼を築く助けとなり、ひいては金融業界への信頼と尊敬、その誠実さを取り戻すことに繋がります。<https://www.cfainstitute.org/-/media/documents/support/future-finance/investor-rights/translations/statement-of-investor-rights-japanese.ashx>

(2) CFA Institute "REALIZE YOUR RIGHT" <https://www.cfainstitute.org/-/media/documents/support/future-finance/realize-your-rights-guide.ashx>

(3) 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」
<https://www.fsa.go.jp/news/r2/singi/20210115-1/02.pdf>

金融事業者により「フィデュシヤリー・デューティ宣言」として公表され、金融庁に提出されている。

(4) FIWA®倫理規範および職業行為基準 https://fiwa.or.jp/wp-content/uploads/pdf/rinri_kihan.pdf



岡本和久の「お金と心チャンネル」より なぜ瞑想は投資に役立つか

寄稿：岡本 和久

私は 30 数年の瞑想者ですが、瞑想は投資にも、仕事にも、そして、人生にも有益であることを実感しています。私の YouTube チャンネルに三回にわけて「なぜ瞑想は投資に役立つか」という動画を公開しました。是非、ご覧ください。



第一回 <https://youtu.be/Ald8UOBhIxE>



第二回 <https://youtu.be/5Pw6Ox8lQhA>



第三回 <https://youtu.be/Scw8SDi2cGQ>



資産運用 「きほん」の「き」

■体験的情報化の変遷

～株価は黒板で見た

～株価情報を提供して注文をもらう

■体験的情報化の変遷

～株価は黒板で見た

1971年4月1日、私の証券人生が始まりました。早いものでもう37年間、証券市場で勉強してもらいました。ちなみに、入社式を終えたときの日経平均は2421円でした。先輩から「この数字を覚えておくといいよ」と、言われたのが懐かしく思い出されます。

これまでの証券人生を振り返ってみると、「情報化」がどんどん進んだ時期だったといえます。おカネと情報は経済という車の両輪です。今月と来月にわたって、私の証券人生で体験した情報化について書きたいと思います。

私の入社当時、証券会社の店頭には大きな黒板がありました。もちろん、いまのような株価ボードなどはありません。短波放送で流される株価をイヤホンで聞きながら、専門の人が黒板に株価を書き込んでいきます。上昇は赤、下落は青です。あの早口の株価放送を聞きながらどんどん書き込んでいくのです。それはすごい技術でした。もちろんクイックやロイターズ、ブルームバーグなどない時代。普通の人が株価を知るのは、証券会社の店頭でこの黒板を見るしかなかったのです。でも、今の情報端末で見る以上の迫力を感じたものです。

私が配属となった国際部は黒板がありませんでした。その代わり値紙（ねがみ）という銘柄名が印刷された大きな紙があり、黒板同様、短波放送を聞きながら女性が青鉛筆と赤鉛筆で株価を書き込んでいくのです。

岡本 和久【編集委員】

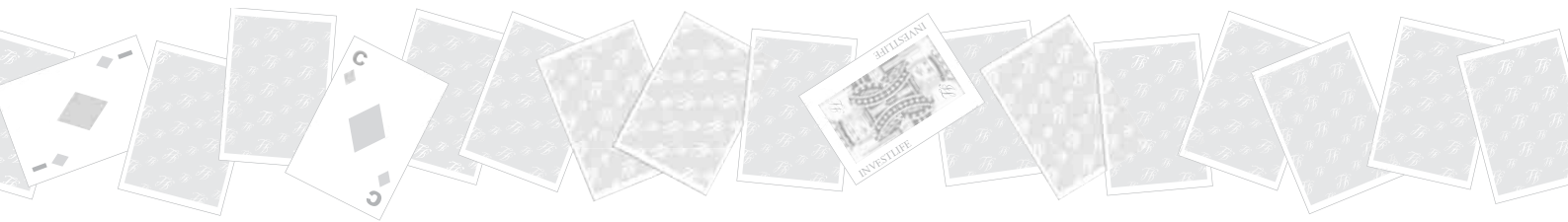
CFA協会認定証券アナリスト
I-Oウェルス・アドバイザーズ㈱
代表取締役
日本CFA協会名誉会長



入社した年の8月15日、ニクソン・ショックが起きました。アメリカ大統領のニクソンが、ドルと金の交換を停止したのです。戦後続いてきたブレトンウッズ体制に終止符が打たれ、それからまもなく、為替市場は本格的な変動制に移行したのです。そのとき、値紙全面が真っ青になったのを昨日のここのように覚えています。上司から、「こういうことはめったにないからよく覚えておくのだよ」と言われました。

国際部の通信はテレックスがほとんどでした。国際電話は高い。今のように株価情報端末もありません。ファックスもなく、Eメールはもちろん存在しません。とにかく各部にようやく電卓（と、いってもかなり大きかった）が普及し始めていたころです。多くの人はそろばんで計算をしていた時代です。テレックスというのは、こちらがキーボードを打つと相手方に同じ文字がでる機械です。テレックス室があり、そこにテレックスの機械がたくさん並んでいました。

テレックスには相手方のベルを鳴らすボタンがあります。朝、取引が始まるとそれが一斉に鳴り出すのです。そうすると若手、新入社員はテレックスのところに駆けつける。文字が流れてきます。「HITACHI NO YORITSUKI IKURA?（日立の寄り付きいくら?）」そうするとその若手は値紙のところにダッシュして株価を見ます。それからテレックスに取って返して「HITACHI YORITSUKI ●●● YEN（日立寄り付き●●●円）」などと返事を打つのです。そうすると海外店はその情報を現地の業者に伝え、注文をもらう。早く寄り付き情報を伝えたところが注文をもらえた。そんな時代がずいぶん続きました。



～株価情報を提供して注文をもらう

私が社会に出たころは、日本の外貨準備がどんどん積み上がっていました。そして、円の切り上げが盛んに議論されたのです。「エンキリがくる!」というのでみんな戦々恐々としていました。そこで、海外の政府や政府系企業に日本で債券を発行させ、円切り上げ圧力を回避しようという動きが起こりました。その一環として、私の勤めていた会社もブラジルにオフィスを作るようになりました。そして、事もあろうに、私がサンパウロに転勤となったのです。1973年のことでした。

しかし、赴任してすぐオイルショックが起きました。日本の外貨準備は吹っ飛び、ブラジルもとてもおカネを貸せる相手ではなくなってしまったのです。思い出すのはブラジルの2年間、とうとう、自宅に電話がなかったということです。今の携帯の普及を考えると夢のような状態です。

ブラジルでブラブラしていたら、1975年にニューヨークへ転勤になりました。大きなニューヨークのオフィスには空席がたくさんありました。話を聞くと、最近まですべての机に人が座っていたということです。1964年にケネディ大統領が利子平衡税を導入し、アメリカ人が海外投資をするときには税金がかかるようになりました。それが1974年に撤廃されたのです。「さあ、これからは大量のアメリカの資金が日本に投資される」というので、証券各社はニューヨーク拠点を大幅拡充しました。

しかし、1973年の秋に起こった第一次オイルショック^{むしほ}の効果が日本経済を蝕み始め、とても日本に投資をできる状態ではなくなってしまった。しかも、1975年の5月1日に、アメリカでは株式売買手数料の完全自由化が行われます。これは「メイ・デイ」と呼ばれる出来事なのですが、この結果、多くのリサーチ・ブティック型証券会社が苦境に陥りました。そんな事情もあり、ウォール街は暗～い雰囲気でした。そんななか、ブラジルでボーッとしていた私が行ったのです。

ニューヨークでの若手の朝の仕事は、東京から送られてくる長い、長いテレックスを適当な長さに切

り、貼り合わせ株価シートを作ることです。そして、それを大量にコピーする。それをメッセンジャーがアメリカの証券各社にデリバリーするのです。アメリカの証券会社は日本の株価を持っていなかったのです。これが結構、大変な作業でした。ちょっと遅れると上司から怒られる。他社の株価シートの方が早く届くと注文がそっちに行ってしまうのです。まさに体力勝負の世界でした。

当時の上司は、若いころロサンゼルスで営業をしていた人でした。お客のほとんどは日系人だったそうですが、日本から送られてきた1週間遅れの新聞で株価を見て、郵便で注文を出す。約定結果も郵便で送られてくる。その後の株価も日本からの新聞でチェックしていたそうです。「随分、便利になったものだ……」と言っていたのを覚えています。

私が社会に出たのと相前後して、日経QUICKという便利なものが開発されました。それまでは黒板や値紙で見ていた株価がすぐにわかる。まさに夢の機械でした。まず東京で導入され、黒板や値紙は姿を消しました。当初は、ニューヨークには導入されていなかったので、東京でQUICKの端末をたたいて調べた株価をテレックスで打っていました。そのうち、ニューヨーク店にもQUICKが入ります。アメリカの証券会社にもそれが普及し、だんだん株価シート作りは不要となってきました。

証券会社は別として、まだまだアメリカの機関投資家は日本の株価情報を必要としていました。私は担当しているお客から興味のある株価のリストをもらい、早朝に会社に行き、株価をQUICKで調べ、朝7時にお客に電話で報告をしていました。これでお客が基本的に興味を持っている銘柄がわかったし、しかも、毎日必ず話を聞いてくれる。マーケットの概況や主なニュースを大急ぎで英語に訳し、電話で株価とともに伝えたのです。ところがついに、「もう、株価はいらないよ」と言われてしまう日が来ました。(次号へつづく)

(『きほん』の「き」はI-Oウェルス・アドバイザーズのメルマガに掲載された文章を加筆修正したものです。メルマガ購読をご希望の方は住所、氏名、職業、電話、メールアドレスをご連絡ください)。

資産運用 「きほん」の「き」

■体験的情報化の変遷（後編）

～君の判断が聞きたい

～情報化時代の投資戦略に出合う

■体験的情報化の変遷（後編）

～君の判断が聞きたい

「株 価情報はもういらないよ」と、アメリカの機関投資家のお客に言われてショックを受けたのですが、それでも、そのころはマーケットの概況や主なニュースについては早朝に電話をすると聞いてもらえました。

特に、薬品関係やハイテク関係のニュースなど、短時間で英語の単語を調べて相手に伝えるのは大変でしたが、ずいぶん英語の勉強にはなりました。しかし、それもまたあるとき、「いらないよ」と、言われてしまったのです。日本のマーケットの詳しい状況や主なニュースが、英語で、ロイターズなどの端末で簡単に見ることができるようになったのです。そのお客からは、「これからはニュースはいらない。そのニュースをどう評価するか、君の意見と判断が聞きたい」と言われました。

株価を伝えるという仕事は、結構メリットがあったのです。なぜなら、相手がどんな銘柄に興味があるかわかるからです。しかし、それがなくなってしまったわけです。そこで、「これからはあなたの興味のあるような銘柄についてきちんと分析をしてあげるから、銘柄リストを教えてくれ」と話し、そのリストをもらいました。全部で50銘柄ぐらいあったと思います。

ちょうど私はそのころ、アメリカの証券アナリスト資格CFAの勉強をしていました。そこで、それらの銘柄をCFA受験プログラムで教えているような方法

岡本 和久【編集委員】

CFA協会認定証券アナリスト
I-Oウェルズ・アドバイザーズ(株)
代表取締役
日本CFA協会名誉会長

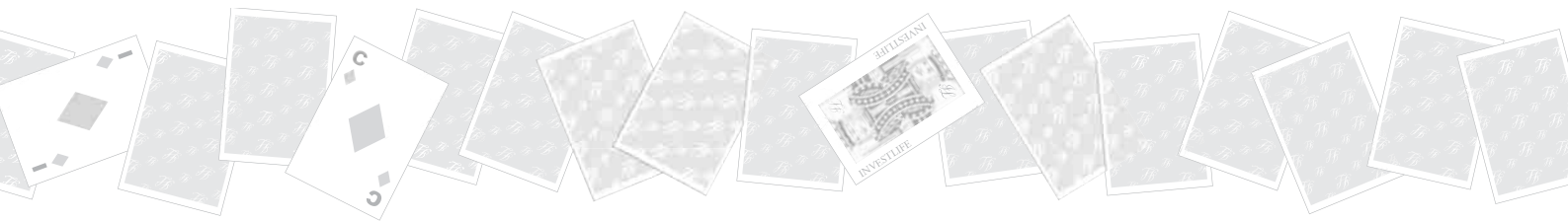


で分析し、お客に提供し始めたのです。それは私にとってもCFA受験の勉強になりました。お客が選んだうち50銘柄を半期ごとに、しかも連結と単体、両方の決算数字をアレンジし直して分析したので、週末はほとんどその作業でつぶれてしまう状態でした。

しかし、このサービスは、私にとっても勉強になりましたし、お客にも非常に喜ばれました。日本の株式をアメリカ流の手法で分析するというのは、当時あまり行われていなかったのです。アメリカのアナリストたちと日本株の話をするときに、ようやく「共通の言語」で話ができるようになりました。

毎日、毎日、数字を見てそれを加工していると、だんだん数字がストーリーを語ってくれるようになります。時系列の財務比率などを見ていると、「あれ？」と思う数値がある。その原因を探っていくと、また別の要因が見つかる。こうして数字から、その企業で何が起きているかを感じ取ることができるようになってきました。

年に何回か、お客と日本に行き、企業を直接訪問しました。財務指標をさんざん見て、その背景を自分なりに類推しているので、面談によりそれを確認することができるのです。工場などの生産現場もよく見せてもらいました。工場での製品の流れの速さが、前回見たときと比べて遅くなっている。そのようなときは、経営陣がどんな強気の発言をしてもちょっと注意が必要です。また、受付の態度や、会社全体の雰囲気などから数値では得られない貴重な情報を得ることができました。



～情報化時代の投資戦略に出会う

株価を提供することでビジネスがもらえる時代は過ぎ去りました。ニュースやマーケットコメントも、みんなに瞬時に情報が行きわたるようになりました。結局、公開された情報をどのように解釈するのか、どのように判断するのかということが求められるようになったのです。1984年、私は11年間の海外生活を終え、東京に戻り情報部という投資戦略を策定する部門でチーフアナリスト兼ストラテジストという仕事に就きました。私の担当した部門の仲間に私の手法を教え、組織としてきちんとしたレポートを発行するようになったのです。

ちょうど80年代のバブルが始まりつつあったころです。私のいた兜町も異様な雰囲気でした。東京で驚いたのは、業界誌などの記者がどんどん仕事場に入ってくることでした。当時は誰でも簡単にオフィスに入ってくるのができたのです。レポートを書いていると、業界誌の人が入ってきて「何、書いてるんですか?」、「あ、それ他社でも今、書いていますよ」という具合でした。そのような情報が兜町で渦巻いている。「〇〇証券は来週、〇〇株を取り上げる決定をしたようだ」という情報がいつも流れていました。入館のセキュリティが厳しくなりだしたのは、バブル崩壊後だったと思います。それまで自由に出入りしていた人たちからは、ずいぶん反発もあったようです。

バブルも終わりに近づいた1989年の夏、私は資金証券部という部門に異動になりました。株式市場があまりに加熱しているので、少し金利や為替の市場に自分を置いてみたいと希望したのが聞き入れられたのです。為替のディーリングなどもしました。しかし、これは本当に難しい。とにかく為替は銘柄が少ないうえ、みんなが同じ情報に注目している。上司から「がんばってくれよ」と言われても、何をどうがんばればよいのかわからない。経済指標を的確に予測したとしても、あるときは「素直に反応し」、またあるときは「材料出尽くし」で逆に動いたりする。フツフツとした毎日が続いていました。そんなとき、アメ

リカの投資顧問会社が日本に進出するので、それを手伝ってくれないかという話が舞い込んできました。

早速その会社に行き、会長と面談をしました。私の悩みなどを率直に述べたのですが、それに対する彼の答えはきわめて明瞭でした。情報化がどんどん進めば為替市場で起こっていることがすべての市場で起こるようになる。株式バブルが崩壊したのもそれが原因なのだ。これからは、情報化という現実在即した運用の手法が求められているのだ、という話を聞かされました。まさに「目からうろこ」が落ちる気がしました。「その手法がこの会社にはある!」と直感的に感じました。そして、それから15年。私が設立した日本の法人は年金運用革命の一翼を担うことができ、年金運用でトップの投資顧問会社にまでなることができました。年金運用革命は、まさに情報化時代に対応した「運用合理化革命」だったのです。

合理的運用とは、ひと言でいえば相場を当てて儲けるのではなく、コントロールできることをきちんとコントロールしながら運用をしていくという手法です。分散投資や長期投資によるリスク・コントロール、運用に伴う費用を小さくするコスト・コントロール、資産の大きな配分比率を決めるアセット・アロケーションなどは投資家が自分でコントロールできるものです。これらを自分の目的に合わせて管理していけばいいのです。リターンはコントロールできません。しかし、ほとんどの人がリターンをコントロールしようとして失敗する。「できることをきちんとする」、これが長期運用の基本だということを、身をもって体験できました。

2005年5月。私は、個人投資家に合理的な資産運用の方法を提供したいという思いで、I-Oウェルス・アドバイザーズを設立しました。ちょうど3年前です。まだまだ、目標にはほど遠いですが、日本の個人投資家が、情報化の新時代に適した長期的な資産運用ができるようにサポートしていきたいと思っています。

(『きほん』の「き」はI-Oウェルス・アドバイザーズのメルマガに掲載された文章を加筆修正したものです。メルマガ購読をご希望の方は住所、氏名、職業、電話、メールアドレスをご連絡ください)。

<モデルポートフォリオ:2021年6月末の運用状況>

単位: %

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率			
		1ヵ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)	10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ~ 258万円
4資産型	積極型	1.78	28.78	12.34	11.47	15.28	15.67	35.22	78.91	139.39
	成長型	1.21	18.32	8.51	8.67	10.41	10.14	23.87	51.86	98.65
	安定型	0.64	8.49	4.61	5.74	6.13	4.87	12.91	28.34	61.64
2資産型	積極型	2.34	35.01	14.35	12.30	16.65	19.31	45.06	92.78	176.49
	成長型	1.61	22.49	10.25	9.55	11.96	12.66	31.07	62.01	123.83
	安定型	0.87	10.90	6.08	6.68	7.97	6.38	17.78	35.42	77.35

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。

積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2020年6月末に1万円投資資金を積み立て始め、2021年5月末の投資資金までとする(2021年6月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。

出所: イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)まで。

ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)
4資産型	積極型	40%	40%	10%	10%
	成長型	25%	25%	25%	25%
	安定型	10%	10%	40%	40%
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: FTSE WGBI (含む日本)	
	積極型	80%		20%	
	成長型	50%		50%	
	安定型	20%		80%	

ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。

特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

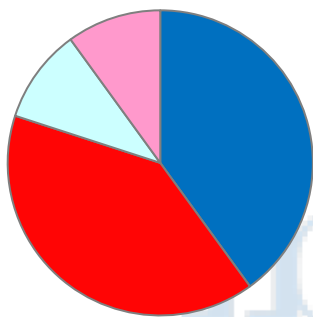
「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。

<http://www.investlife.jp/>

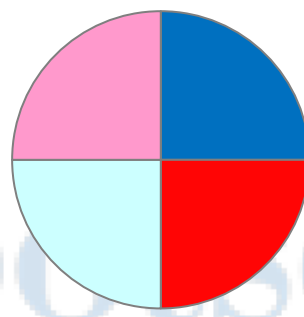
4資産型

- 国内株式:
TOPIX
- 外国株式:
MSCI KOKUSAI
- 国内債券:
NOMURA-BPI
(総合)
- 外国債券:
FTSE WGBI
(除く日本)

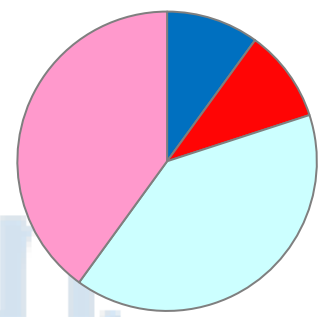
積極型



成長型



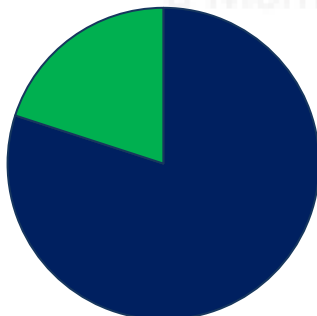
安定型



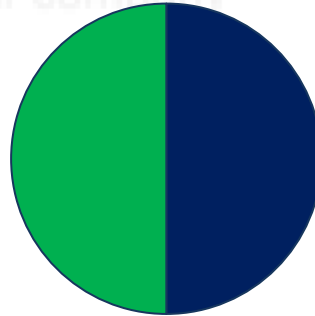
2資産型

- 世界株式:
MSCI ACWI
(含む日本)
- 世界債券:
FTSE WGBI
(含む日本)

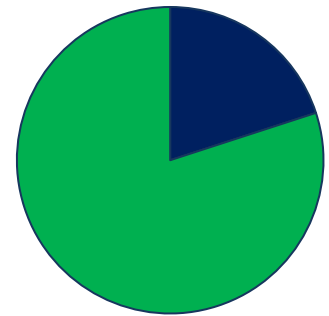
積極型



成長型



安定型



＜純資産上位ファンド(毎月および隔月決算型を除く)：2021年6月末の運用状況＞

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。

今回 順位	前回 (21年 3月末) 順位	運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク 10年 (年率)	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の 月末資産額				2021年6月末		イボットソン 分類
				1ヵ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ～ 258万円	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ～ 258万円	純資産 (億円)	基準価額 (円)	
1	1	日興アセット	グローバル・ブロスベクティブ・ファンド	17.0	90.4	—	—	—	30.7	—	—	—	15.7	—	—	—	10,433	26,640	外国株式・世界型
2	2	AM_One	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	4.9	45.7	—	—	—	18.4	—	—	—	14.2	—	—	—	7,682	31,370	外国株式・世界型
3	3	ゴールドマン・サックス	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	7.9	44.9	28.7	21.4	24.1	24.1	102.5	247.1	468.0	14.9	121.5	416.5	1465.4	7,233	24,734	外国株式・北米型
4	4	三井住友トラストAM	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	7.0	50.9	—	—	—	22.2	—	—	—	14.7	—	—	—	6,845	19,131	外国株式・世界型
5	5	AM_One	投資のソムリエ	0.9	2.2	2.8	—	—	1.4	8.7	—	—	12.2	65.2	—	—	5,652	12,384	アロケーション・リスクコントロール型
6	12	三菱UFJ国際投信	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	2.9	46.1	—	—	—	24.5	—	—	—	14.9	—	—	—	4,943	16,444	外国株式・北米型
7	6	フィデリティ投信	フィデリティ・日本成長株・ファンド	2.6	31.2	13.1	11.5	19.6	13.3	39.1	88.7	124.6	13.6	83.5	226.4	579.5	4,755	31,521	国内株式・大型成長型
8	7	レオス	ひふみプラス	3.5	24.2	14.6	—	—	10.2	38.2	—	—	13.2	82.9	—	—	4,729	51,610	国内株式・キャッシュバランス型
9	10	三井住友DS	グローバルAIファンド	8.7	89.3	—	—	—	36.4	—	—	—	16.4	—	—	—	4,395	39,131	外国株式・世界型
10	8	ティー・ロウ・プライス	ティー・ロウ・プライス 米国成長株式ファンド	6.5	44.7	—	—	—	22.3	—	—	—	14.7	—	—	—	4,334	15,145	外国株式・北米型
11	9	日興アセット	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	3.7	50.0	22.1	—	—	23.2	73.6	—	—	14.8	104.2	—	—	4,213	12,293	外国株式・世界型
12	13	日興アセット	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	3.7	50.4	22.2	—	—	23.3	74.3	—	—	14.8	104.6	—	—	3,532	24,946	外国株式・世界型
13	11	さわかみ投信	さわかみファンド	2.0	30.0	11.4	9.5	18.9	14.1	27.6	68.0	115.1	13.7	76.6	201.6	555.0	3,432	30,989	国内株式・大型ブレンド型
14	21	アライアンス・B	アライアンス・バーンスタイン・ 米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	6.4	42.8	25.1	21.2	21.0	24.6	89.0	220.4	—	15.0	113.4	384.5	—	3,271	43,079	外国株式・北米型
15	15	三菱UFJ国際投信	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	9.5	52.6	—	—	—	28.0	—	—	—	15.4	—	—	—	3,208	27,276	外国株式・世界型
16	14	日興アセット	グローバル・フィンテック株式ファンド	10.6	68.1	—	—	—	24.9	—	—	—	15.0	—	—	—	3,074	37,941	外国株式・世界型
17	18	ゴールドマン・サックス	GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズ Bコース(為替ヘッジなし)	6.5	59.0	—	—	—	26.9	—	—	—	15.2	—	—	—	3,073	18,102	外国株式・世界型
18	19	ニッセイAM	＜購入・換金手数料なし＞ ニッセイ外国株式インデックスファンド	2.5	46.0	17.3	—	—	24.7	56.1	—	—	15.0	93.7	—	—	3,013	23,570	外国株式・世界型(除く日本)
19	24	楽天投信	楽天・全米株式インデックス・ファンド	3.2	49.8	—	—	—	25.8	—	—	—	15.1	—	—	—	3,011	17,646	外国株式・北米型
20	20	セゾン投信	セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド	1.2	21.3	9.7	9.0	12.0	11.6	28.0	55.5	—	13.4	76.8	186.6	—	2,713	18,531	アロケーション・やや積極型

対象は追加型株式投資信託のうち2021年6月末時点で1年以上の運用実績があるもの(毎月・隔月決算型、ETF・DC・SMAなど専用投資信託を除く)。
積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2020年6月末に1万円で積み立てを開始し、2021年5月末投資分までの2021年6月末における運用成果とする(2021年6月の積み立て額は入れない)。
出所: MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectのお問い合わせはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)にてご送信ください。
Copyright ©2021 Ibbotson Associates Japan, Inc.